

# とっとり 市議会 だより

## 12月定例会のあらまし

12月定例会を12月3日から12月20日までの18日間にわたって開催しました。本定例会では、市長から令和元年度鳥取市一般会計補正予算についてなど24議案が提出され、19議案は全会一致、5議案は賛成多数で原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案2件が提出され、2議案すべてが全会一致で原案のとおり可決しました。

なお、一般質問には、28人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

令和元年  
**12**月  
定例会号  
No.188  
(令和2年3月1日発行)



令和元年度 鳥取市議会  
議会報告会・意見交換会を開催しました！(第2報)  
【10、11月の開催校】  
鳥取商業高等学校、鳥取盲学校

..... 2～3ページ

スマートフォン・タブレットから  
過去のとっとり市議会だよりを  
ご覧いただけます。



ひなまつり (鳥取市 奥田 重雄さん提供)

議会に関するご意見・お問い合わせ

表紙作品を募集しています。詳しくはP16をご覧ください。

鳥取市議会事務局 〒680-8571 鳥取市幸町71番地  
E-mail: gikai@city.tottori.lg.jp

TEL (0857) 22-8111(代)  
FAX (0857) 32-2170

# 令和元年度 鳥取市議会

## 議会報告会・意見交換会

### 第2報

生徒と市議が未来を語る

主権者意識の向上を図るため、鳥取市議会は、令和元年7月から11月にかけて5つの学校において、計61名の生徒たちとの「議会報告会・意見交換会」を開催しました。

今回は、秋に開催した鳥取商業高等学校と鳥取盲学校の2校の内容について掲載しています。

夏に開催した3校については、昨年のとおり市議会だより6月定例会号に掲載していますので、こちらもご覧ください。



### 鳥取盲学校

11月15日(金)

テーマ「地方自治と地方議会について  
(日頃感じていること)」

#### 生徒からの意見・要望等

- 音声信号機をふやしてほしい。点滅している時は見えないので、音声の変化で知らせてほしい(音のスピード変化など)。
- 丸山交差点の歩道橋が複雑で方向がわからなくなる。何が、どこにあるのか、点字表示をしてほしい。
- タクシー乗車の際に障がい者手帳を示し、チケット乗車に対して運転手に嫌な顔をされた。乗りにくい経験をした。
- バス停やJR周辺に点字ブロックがない場所や段差が大きいところがある。
- くる梨のIC化は良いが「障害」割引が、電子マネーと連動してできているか。
- くる梨のコースをふやしてほしい。
- あいサポート条例はあるが「視覚障がい者条例」を作してほしい。
- 盲学校の中に「視覚障がい者・東部支援センター」があるので、相談やPRしてほしい。
- 市民向け「ヘルスキーパー制度(マッサージ専用)」をJR施設、商業施設に作してほしい。障がい者雇用がふえ、利用者の健康保持につながり、企業は従業員との良い関係を構築し、鳥取市のイメージアップにもなり、4者がウィンウィンとなる。
- まちづくり「鳥取ドリームランド」を提案。笑顔が光り輝くまちをコンセプトに、声掛けを励行。市民が主役のプロモーションビデオを作成しYouTubeへアップ。鳥取市のイメージアップで、観光客の増加を図り、移住者の増加につなげる。
- 視覚障がい者のヘルプラインが知られていない。
- 障がい者に利用しやすい交通施策を望みたい。
- 障がい者雇用について(雇用率が低い現状)。
- 点字ブロックの上に物を置かないことを徹底してほしい。



- ・若い人が興味を持つような子ども版市議会だよりがあれば良いと思う。
- ・市議会を身近に感じる事が出来た。

#### 【意見交換会について】

- ・自分の意見がはっきり言えるような環境でとてもよかった。
- ・すごく面白い体験をすることが出来ました。次回もまた参加したい。
- ・もっと話せればさらに面白い意見や現実的な対応策も出るんじゃないかと感じた。
- ・何を話せばいいか不安だったが、思ったより話しやすくてたくさん意見が出てよかった。
- ・もう少し話がしたかった。意見交換の時間が40分は短い、最低でも60分は欲しい。
- ・同日授業で講演もあり、もうすぐ18歳になるので今まであまり関心がなかった選挙に参加しようと思った!

か知れてよかった。今後も続けてほしい。  
挙げていることで納得しながら聴くことが  
していた。会場にいる関係者に関すること  
と思う。

くったら興味を持ってくれると思う。  
増えていけばいいと思う。高校生だけでも  
話し合ってもよいと思う。  
いなかったがこれから読むようにしたい。  
ている議員さんがおられることで将来が明  
とうございます。



鳥取商業高等学校

10月24日(木)

テーマ1 「若者のすみやすいまち」について  
 テーマ2 「商業の活性化」について



生徒からの意見・要望等

- JRの本数(鳥取～湖山、鳥取～智頭)やバス(浜坂方面)を増便してほしい。
- JRの車両もふやしてほしい。
- 鳥取駅から自宅まで自転車を利用しているが、帰宅時間が遅くなると暗い中を帰ることが多いため、街灯をふやしてほしい。
- 若桜街道を活性化させてほしい。若者の遊ぶ施設をふやしてほしい。
- 駅や商店街に公共Wi-Fiが少ない。ふやしてほしい。
- 就きたい仕事、選べる仕事が少ない(デザイン、メディア系など)。
- 医療系には奨学金があるので、他の業種もつくってほしい。
- カフェ・マックなど若者・子どもの遊ぶ場所をふやしてほしい。例えば、映画館・ボーリング・スケート(複合スポーツ・アミューズメント施設)など。
- パチンコ店の1つが複合スポーツ・アミューズメント施設にならないか。
- 看護師・医療関係の奨励金はあるのだが、他の業種はない。他の業種でもあれば、地元に戻ってきやすい。若者の人口がふえるのではないか。
- ブームをうまく捉えた施策を推進してほしい。
- 広報・販売の手法改善による来訪者の拡大を図るためにも、ペイペイなどのキャッシュレスの導入促進をより図ってほしい。



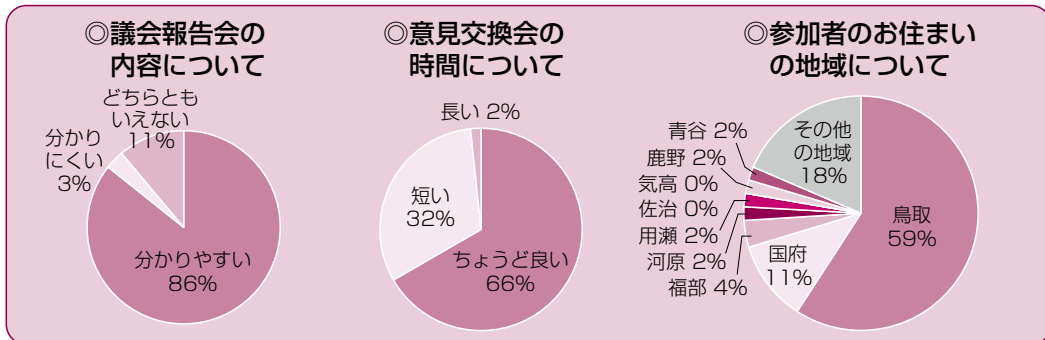
今回、生徒の皆さんよりいただいた要望・意見は、市長に提出し、回答・所見を得たものを鳥取市議会ホームページにて掲載していますので、そちらもあわせてご覧ください。



**「開催を終えて」**  
 「県外進学を考えているが、いずれは鳥取に帰りたい」との意見が出て頼もしく感じました。「都会と変わらない仕事、交通の不便さの解消、まちの賑わいを取り戻すこと」など、生徒たちの想いを垣間見ることができ、大変有意義な会となりました。交通の不便さは、高齢者の問題と思いがちでしたが、生徒たちが通学や友達と遊んだりするのに困っている切実さが伝わってきました。今後も生徒たちの想いを反映し、いつまでも暮らしたい鳥取市となるよう一層取り組んでいきたいと思えます。  
 参加された生徒の皆さま、ご協力いただきました先生方、関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。  
 (議会広報委員会委員一同)

アンケート集計結果(5校分・抜粋)

生徒の皆さんと各学校にご協力いただいたアンケート結果をご報告します。  
 なお、アンケートの自由記載欄では、たくさんのご意見・ご感想をいただきました。本記事では一部抜粋して掲載しています。全文については、鳥取市議会ホームページに令和元年度「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書を掲載していますので、ご覧ください。



～自由記載欄(抜粋)～

- 【議会報告会について】**
- ・市議会が何をしているの
  - ・分かりやすく、具体例を出れた。
  - ・簡潔に伝えることを報告が聞けると親近感もわく
- 【鳥取市議会について】**
- ・高校生向けの広報をつ
  - ・今回のような話し合いがく大学生や中学生などと
  - ・議会だよりを気にかけて
  - ・市民のために考えて働いてるく感じました。ありが

12月定例会  
一般質問

本誌では、各議員の質問の中から、それぞれ1項目について質問と答弁の要旨を掲載しています。動画及び会議録の全文は、市議会ホームページからご覧ください。  
※発言順に掲載しています。



市道の維持管理  
(除草)について

勝田 鮮二 (未来ネット)



**問** 市道の歩道等における除草について、現状の管理体制を尋ねる。また、ある支所管内で除草が遅れたと聞き、確認したところ、担当者がかわったことによる遅れとのことだった。担当者がかわっても、決められた時期に、決められたことができなければ、道路の維持管理はできないと考えるが、課題解決に向けた具体的な改善策を問う。

**答** (都市整備部長) 除草路線では、業者委託により毎年計画的に除草を実施している。除草の時期は、例年6月ごろに業務委託の契約を行い、草が著しく成長する梅雨ごろからお盆までに完了できるよう努めている。そのほかの市道については、道路パトロールや市民の皆さんからの通報を受けて現地を確認し、通行に支障を来す場合には、直営で通行確保のための除草を行っている。除草路線は、観光地へ向かう道路や車が安全に通行するために特に除草が必要な道路である。毎年決められた時期に除草を行う意義を関係職員が再認識し、また適切な時期に実施できるように、より一層のスケジュール管理を徹底していきたいと考えている。



台湾との定期便就航を目指し、  
更なる交流機会の創出を

岡田 信俊 (会派新生)



**問** 令和元年は、鳥取砂丘コナン空港と台湾を結ぶチャーター便が37便運航し、多くの誘客ができた。さらなる誘客を図るためには、同区間を結ぶ定期便の就航が重要と考える。本市においても観光のほか、文化、スポーツ、教育などさまざまな分野で台湾との交流機会を創出し、お互いの魅力を知り、相互誘客に繋げるべきと思うが、市長の所見を求める。

**答** (市長) 航空路の定期便化を実現するには、PRによる誘客に加え、さまざまな分野での交流を促進することにより、双方向で人の流れを創出していくことが重要であると考える。台湾との交流は、平成12年から鳥取県と台中県、平成22年から台中県と台中省轄市の合併により新たに誕生した台中市との間で続いており、現在は、鳥取県のほか三朝町、北栄町などが交流を行っている。本市においても、鳥取県の交流事業の一つとして、平成29年に台中市の議員を代表とする砂像交流訪問団による表敬訪問や砂の美術館視察の受け入れを行っている。また、令和元年6月には湖南学園小学校が台北市立文化国民小学校との姉妹校協定に基づき、教育旅行の受け入れと学校交流を行った。引き続き、県や関係団体などとも連携しながら、誘客や交流促進の取り組みに力を入れていきたい。



ごみ袋代金は半額に！

岩永 安子 (日本共産党)



**問** ごみ袋代金有料化の際、「ごみ袋収入はごみ処理経費の一割程度」という約束であったのに対し、平成30年度はその数値が二割に なっている。また、ごみ袋の重量を45リットルで13・5キログラムという古い数値で計算しているが、私のごみ収集所で測ったごみ袋の重量は、平均5・5キログラムで実態を表していない。これら二点の理由で、ごみ袋は今の半額にすべきと思うがどうか。

**答** (市長) ごみ袋の売り上げ代金のごみ処理経費に占める割合は、毎年変動があるが、清掃工場の統合などの焼却経費節減による減少もあり、また、収入であるごみ袋の販売収入は増える傾向にあり、結果としてこのような数字となっている。環境審議会に令和2年度から令和4年度までの代金について諮問し、3回にわたり御審議をいただいた。検討の結果、市民の皆さんのごみの分別・減量やリサイクルの取り組みを継続するために、現在の価格を据え置くことが適当であると、答申をいただいたところであり、この結果を尊重し、現行価格を据え置くべきと考えている。令和5年度以降は、新しい可燃物処理施設が稼働するため、その処理経費等さまざまなデータを参考に、長期的視点に立ってごみ袋代金のあり方を考えていきたい。



河川災害対策強化で  
防災力の向上を!



寺坂 寛夫 (会派新生)

**問** 平成30年、令和元年と、豪雨によって日本全国に甚大な被害が生じた。本市においても多くの河川があり、国・県が管理する河川では、改修整備や緊急対策での堤防補強等に取り組みられている。一方、本市が管理する河川や排水路整備には、国の補助事業化や起債事業の拡充を求め、要望する必要がある。安心安全な河川防災対策インフラ整備の推進について市長の所見を求めらる。

**答** (市長) 河川の災害対策については、これまで、千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会などでハード・ソフト対策に国・県と一体的、また計画的に取り組んできている。県は令和元年の台風19号による東日本の被害を踏まえ、11月から水防対策検討会を立ち上げ、短期的に効果が発現できるハード整備やソフト対策のあり方について検討を行っている。本市としては、これらの協議会や検讨会などにおいて国・県と連携しながら河川の災害対策の強化策を検討していきたいと考えている。また、本市区域の河川整備について、国・県管理河川の整備促進や市管理河川の整備における有利な起債の継続などについて、引き続き国・県へ要望していきたい。



地域の伝統技術と伝統  
工芸の継承のために



太田 縁 (無所属)

**問** 首里城再建に向けた動きが加速している一方、正殿の建て直しに必要な伝統技術の維持には課題が多く、材料や職人の不足も懸念されている。伝統技術の継承には人材を育成する機運の醸成も必要であり、そのためには官民の連携が重要であるとも言われている。鳥取市の地域資源を活かした産業の一つと考えられる伝統技術、伝統工芸の継承について市長の見解を尋ねる。

**答** (市長) 文化的財産の保存に必要な特殊技能を有する熟練技術者は、長年にわたりいろいろな生産や修理などを通して技術を蓄積されてきているが、近年は伝統工法による仕事が減っており、若年世代への伝承が難しくなってきた。文化的な財産の担い手の働く場を確保し、伝統技術を生かした文化財を保護するという二つの観点を踏まえて、引き続き、関係者の皆さんと意見交換等をしていく必要があると考えている。また、地域社会に根差した伝統文化や、それを支える人と技術を地域の皆さんに知っていただくことは、その地域に対する愛着を深め、まちづくりへの参加意識を育んでいく貴重なきっかけとなる。未来を担う子どもたちも伝統文化や技術に親しむ機会がふえるよう、今後も地域の皆さんと一緒に取組んでいくことが重要であり、歴史ある伝統工芸等をこれから次の世代に継承していただけるような方策、支援が必要であると考えている。



旧鳥取市役所本庁舎  
跡地利用について



米村 京子 (未来ネット)

**問** 旧本庁舎跡地利用は、要望書や陳情書が提出されているように、まちづくりの一つとして大切な課題である。一日でも早く、市民が市民による市民のための力を結集したまちづくりを行なえるよう、スピード感を持って市民を中心とした話し合いを行う必要がある。旧本庁舎跡地利用を含めたまちづくりについて、市長の見解を尋ねる。

**答** (市長) 旧本庁舎跡地は、中心市街地において、古くから市民の皆さんに利用され、親しまれてきた場所であるとともに、全市民の大変貴重な財産である。旧本庁舎跡地の活用策については、さまざまな方法で市民の皆さんに幅広く御意見を伺いながら、検討していかなければならないと考えており、中心市街地におけるまちづくりとしてのみならず、全市民的観点から活用策を決定していかなければならないと考えている。



旧鳥取市役所本庁舎



健康増進機器と各総合支所の保健師について

秋山 智博 (未来ネット)



**問** 気高地区保健センターでは、使用中のトレーニング機器がかなり多くあり、利用者に不便をかけている。当初予算の執行時期が遅いと思われるが、他の故障や劣化した機器も年次計画で更新できないか。

利用状況を確認しながら必要に応じて、機器の更新を検討していきたい。

**答** (健康こども部長) 予算の執行時期が遅くなった理由は、発注の事務手続が遅れたことによるものであり、利用者の皆さんには、誠に御迷惑をおかけしたと反省している。今後は、迅速な事務執行に努めていきたい。また、他の機器については、

(市長) 近年、保健業務が非常にふえ、内容も多様化している。本市では、全市的な事業や計画の策定、取りまとめ、受診券の発送等を中央保健センターへ集約して行っている。また、中央保健センターから各支所地域へも特定保健指導対象者への訪問等に伺うこと、乳幼児健診等を含同で行うなど連携を密に行い、地域によって業務に差が生じないような体制をとっている。

今後の職員配置については、市全体の効率的・効果的な事業の運営を念頭に置き、事務事業の増減などを考慮して検討していきたい。



視覚障がい者支援について

浅野 博文 (公明党)



**問** ヘルスキーパー(※)をおくことで、施術による従業員の心身のリフレッシュが図れ、仕事へのモチベーション向上が期待できる。さらには、視覚障がい者の就労支援にもつながり、障がい者の法定雇用率が上がるなどのメリットもある。本市も積極的にヘルスキーパーの普及啓発に取り組むべきと考えるがどうか。

特定求職者雇用開発助成金、また障害者雇用納付金制度に基づく助成金や職場適応訓練、短期職場適応訓練の活用が可能である。今後、障がい者の雇用確保に向け、これらの情報提供に努め、ヘルスキーパーの普及啓発に取り組んでいきたいと考えている。

**答** (市長) ヘルスキーパーの設置は、従業員の健康管理、疲労回復、また疾病の予防に加えて、身体・心理面へのリフレッシュによる生産性の向上、また障がい者の法定雇用率の向上にもつながると考えている。ヘルスキーパーの雇用の際には、

(※)ヘルスキーパーとは、企業が従業員の健康管理、疲労回復、疾病予防等のために雇用するマッサージ師の呼称。



ヘルスキーパーの雇用の際には、



子どもの幸福度向上について

前田 伸一 (公明党)



**問** 子どもは、家庭や地域社会の構成員でもあり、子どもの意思や意向を踏まえた社会の仕組みを築いていく努力が必要である。子どもが当事者であり切実な問題であるいじめや不登校等についても、これまで大人だけで議論してきたのではないか。市長は、子どもの参加による本市の課題解決の場作りについてどのように考えているのか問う。

いる。子どもに関する施策・事業、地域においてのさまざまな取り組み等について、子どもたちが意見を表明したり、参加を支援していくるよう、子どもたちの視点に立ってわかりやすい情報の発信に努めていく必要があると考えている。また、保育、家庭、地域など子どもの日常生活の場において、子どもたちにかかわる大人が連携・協働して、子どもたちに優しいまちづくりを進めていくことが必要であると考えている。

**答** (市長) 子どもの人権を尊重し、子どもたちの意思や意向を鳥取市の政策・施策に反映していくことは大変重要であり、大切なことであると考えている。そういった場を作っていくことをこれからも取り組むたいと思っ

ている。子どもに関する施策・事業、地域においてのさまざまな取り組み等について、子どもたちが意見を表明したり、参加を支援していくるよう、子どもたちの視点に立ってわかりやすい情報の発信に努めていく必要があると考えている。また、保育、家庭、地域など子どもの日常生活の場において、子どもたちにかかわる大人が連携・協働して、子どもたちに優しいまちづくりを進めていくことが必要であると考えている。



子どもは、家庭や地域社会の構成員でもあり、子どもの意思や意向を踏まえた社会の仕組みを築いていく努力が必要である。子どもが当事者であり切実な問題であるいじめや不登校等についても、これまで大人だけで議論してきたのではないか。市長は、子どもの参加による本市の課題解決の場作りについてどのように考えているのか問う。

いる。子どもに関する施策・事業、地域においてのさまざまな取り組み等について、子どもたちが意見を表明したり、参加を支援していくるよう、子どもたちの視点に立ってわかりやすい情報の発信に努めていく必要があると考えている。また、保育、家庭、地域など子どもの日常生活の場において、子どもたちにかかわる大人が連携・協働して、子どもたちに優しいまちづくりを進めていくことが必要であると考えている。



山陰新幹線整備計画に  
向けた取り組みについて



上杉 栄一 (会派新生)

**問** 山陰新幹線は、昭和48年に基本計画に決定され、その後45年以上放置されている。新幹線ネットワークの整備は、地方創生や国土強靱化、リダンダンシー<sup>(※)</sup>の観点からも必要であると考えます。本市議会も、山陰新幹線整備促進鳥取市議会議員連盟を立ち上げ、活動を展開している。着工5条件等の高いハードルはあるが、山陰新幹線整備に向けて市長の所見を問う。

幹線等と山陰新幹線のネットワーク化による日本海国土軸の形成により、太平洋側での大規模災害に対するリダンダンシーの確保にもつながると考える。地方創生や国土強靱化、持続可能な国づくりの観点から、山陰新幹線をはじめとする新幹線ネットワークの整備は必要不可欠なものであり、国家的なプロジェクトとして進めていくべきものであると考えている。

<sup>(※)</sup> リダンダンシーとは自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、あらかじめ交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質を示す。

**答** (市長) 山陰新幹線が整備され、新幹線ネットワークに組み込まれることにより、広域的な人・物の交流が生まれ、雇用の創出や地方創生の加速化が進み、先に整備が進んだ太平洋側地域との格差解消につながっていく。さらには、北陸新



頻発する大型台風の  
被害対策に関連して



西村紳一郎 (会派新生)

**問** 大型台風19号の教訓によりハザードマップの情報は、防災対策に大変有効であることが分かった。現在では、防災気象情報などの内容は充実し、伝達手法も進化している。災害情報は整備しただけでは役に立たない。市民が情報を認知し、理解し、活用し、自ら行動を起こして効果が発揮されると考える。防災・減災対策の啓発活動等の取り組みについて尋ねる。

タイムミングでどのように避難するかを誰が見てもわかりやすいように工夫しているところである。

今後、この新しい総合防災マップを今年度末には市民の皆さんに配布し、地域での防災講習や防災リーダー研修会などで活用していくことで、市民の自発的な防災・減災活動につなげていきたい。また、国を初め各機関で行われているこのたびの災害の検証結果についても、市民の皆さんに広く周知していくことで、今後の災害に備えた啓発活動につなげていきたい。

**答** (危機管理部長) 本市では、ハザードマップと防災知識、学習面などを一体化した総合防災マップを今年度新たに作成しており、ハザードマップの見方や防災気象情報の活用方法などを記載して、どの



廃プラ抑制への  
積極的な支援を



星見 健蔵 (会派新生)

**問** 近年、プラスチックによる海洋汚染や、地球温暖化の影響による気象災害が世界的な問題となり環境意識が高まっている。農業分野でも廃プラの排出抑制に向け生分解性マルチ<sup>(※)</sup>の使用を進めている。すき込むことにより微生物の力で分解され省力化にもつながっているが高価格が普及を阻んでおり負担軽減への積極的な支援が必要。市長の所見を問う。

今後、農作業の省力化や環境負荷の軽減に向けて、JAや県などとも連携しながら、この普及に向けた方策について研究していきたいと考えている。

<sup>(※)</sup> 生分解性マルチとは、農業生産の現場において、地温の確保、雑草の発生防止等の目的で使用されるマルチフィルムで、微生物の働きにより最終的には水と二酸化炭素に分解されるため、使用済みプラスチックの排出抑制につながり環境保全に貢献するもの。

**答** (市長) 生分解性マルチの使用率は、JA鳥取いなばによると、マルチ購入量全体の1%程度にとどまっております。価格が通常のマルチの約4倍と高価であることが、普及の進まない要因の一つと聞





前立腺がん対策について



田村 繁己 (公明党)

**問** 前立腺がんは、胃がん、大腸がん、肺がんに続いて罹患率が日本で4番目に高く、また、多くの場合、自覚症状がないため早期に発見しづらく、高齢化とともに罹患率が急速に上昇すると言われているが、本市の指針には検診が定められていない。本市の施策に位置づけて、前立腺がんの検診を推進すべきと考えられているが、市長に所見を求める。

新たな検診を行うことは考えていないが、本市では40歳から74歳の鳥取市国民健康保険の被保険者を対象に行っている人間ドックにおいて、PSA検査を含む腫瘍マーカー検査を行っている、こういった検査を市民の皆さんに御活用いただきたいと考えている。

(※) PSA検査とは前立腺がんを発見するための血液検査で、PSA値が高いほど前立腺がんが疑われます。PSAとは、前立腺に特異的なたんぱく質の一種で、健康な人の血液中にも存在します。しかし、前立腺の病気になるると血液中に流出し、PSAが増加するため、前立腺がんの可能性を調べるとともに、早期発見の指標として用いられています。

前立腺がん 鳥取大学医学部附属病院がんセンター  
<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/cancer/about/prostatecancer.html>  
 (参照 2020-02-04)



地域における事前防災について



吉野 恭介 (会派新生)

**問** 自然災害の予測は難しく被害抑制のためには、普段から自助の意識醸成など身近な事前防災が重要である。浸水深の表示を町内に多く設置されている電柱に掲示することで、迅速な避難行動につなげてはどうか。また、基礎のくい打ちをしているなど丈夫な建築物を有する企業などに、緊急時の一時避難所として開設してもらいたい。協力を要請ができないか。

の事例を紹介している。本市でもこうした取り組み事例を参考に、今後どのような対応ができるのか、国や県と調整し、電柱への浸水深表示等について中国電力やNITとも協議したいと考えている。

また、本市では、複数の民間企業や公共機関等との間で、災害時における一時避難場所の提供に関する協定を締結している。協定締結には、企業活動を継続しながら避難場所を提供できることや耐震性など、一定の条件が確保される必要がある。今後も企業や関係団体の意向も酌み取りながら、協議していきたい。



本市の緑化の推進に対する考えを尋ねる



横山 明 (会派新生)

**問** 近年、学校での猛暑対策として、エアコンが設置される。グラウンドの芝生化と屋上緑化をセットで推進すれば、学校及び周辺の暑さが軽減でき、エアコンの節電が温室効果ガスの排出削減につながり、地球温暖化を止める。また、異常気象が減り、気候変動による災害も減少する。緑化の推進でクリーンな鳥取市にすれば国際社会に貢献できるが、本市の対応について尋ねる。

舎の屋上の緑化については、現在の校舎の重さがふえることによつて、建物の耐震性が確保されるのかといった観点、また維持管理の方法やコストの問題などさまざまな観点から研究を行う必要があると考えている。

(答) (教育長) 校庭の芝生化については、現在市内の小・中・義務教育学校58校のうち17校で実施しており、夏場には暑さの緩和など、非常に効果が出ていると考えている。校



遷喬小学校 芝生化の様子





個別通知で子宮頸がんワクチンの正しい情報提供を



石田憲太郎 (公明党)

**問** 現在、子宮頸がんワクチンは自治体による接種の積極的勧奨が控えられている。一方で、定期接種A類である同ワクチンは、予防接種法により対象者への周知と接種機会の確保が義務付けられている。ワクチンの正しい情報の提供と、接種希望者への接種機会の確保を図るためには、対象者への確実な周知に最も効果のある個別通知を行うべきではないか。

**答** (健康こども部長)

子宮頸がんワクチンは、平成25年4月から予防接種法に基づく定期予防接種として実施されたが、ワクチン接種後に持続的な疼痛が特異的に見られ、ワクチン接種との因果関係を否定できないことから、国は開始2カ月後の同年6月に、定期接種としては続けるものの、積極的な勧奨は控えるとした。

(市長) 平成25年6月の国からの勧告では、対象者への周知について、接種の積極的な勧奨とならないように留意すること、また、周知を行うに当たっては個別通知を求めるところではないとされており、これまで本市では、対象の方への個別通知は見送っている。予防接種の有効性が認められている一方で、副反応について不安を感じられる方が今も多いといった状況の中で、積極的な勧奨にはならない形でのような周知ができるのか、研究したい。



本市の温泉を活用したさらなる取り組みの強化に向けて



長坂 則翁 (未来ネット)

**問** 令和元年10月に三朝町において、「温泉を活用した健康づくり全国大会2019」が開催され、全国の12自治体等から300人の参加があった。主催団体は「NPO法人健康と温泉フォーラム」であり、後援団体は環境省、厚生省、観光庁、全国市長会等である。本市には豊富な温泉があり、温泉を活用した健康づくりを進めるためにも、健康と温泉フォーラムへ加入すべきと考えるが所見を尋ねる。

**答** (市長) 温泉地から始まる健康づくりをテーマに三朝町総合文化ホールで開催された本大会は、温泉を活用した健康づくり全国大会三朝町実行委員会と

NPO法人健康と温泉フォーラムを主催者とし、環境省や厚生労働省、また全国市長会、全国町村会、鳥取県、鳥取県中部医師会などの後援で、講演やパネルディスカッション、大会宣言などが行われたと承知している。

鳥取温泉、吉岡温泉、浜村温泉、鹿野温泉など多くの温泉のある本市としても、同フォーラムへの加入について研究してみたいと考えている。



鳥取市の農業振興について



魚崎 勇 (会派新生)

**問** 欧州などでは、オーガニック<sup>(※)</sup>農産物の需要が高く、農産物の輸出拡大には農業を使わない農業が重要と考える。

本市の耕作放棄地は年々増加しており、輸出を見据えオーガニック農業に耕作放棄地を活用すべきと考えるが、残留農薬で規制のある諸外国にも受け入れられやすい、オーガニック農産物づくりについて、どのように考えているのか尋ねる。

**答** (市長) 世界的に食の安全が注目されている中で、世界共通の有機JAS、オーガニック表示を認証取得した有機栽培は、輸出を念頭に置いた取り組みとしても大変有効であると考えている。国で

は、国際水準GAPの実施を交付要件とした環境保全型農業直接支払交付金制度を設けており、本市においても平成30年度末には7団体、3,556アールで有機農業の取り組みが行われている。今後、このような国の交付金等を活用して有機農業を支援しながら、JAGグループ、またジェトロ、地域商社等との緊密な連携のもとに、本市の安全かつ高品質な農産物の輸出機会の拡大に努めていきたい。

(※) オーガニックとは有機栽培のこと。



生活交通創生ビジョン  
策定の理念について

荻野 正己 (日本共産党)



**問** 今日、利用者の減少や運転手不足で、バス路線の廃止・縮小などが進み、生活交通が危機にある。本市は、今年度末の完成を目前に、交通政策の新たな方向性を示す「鳥取市生活交通創生ビジョン」を策定中であるが、

地域の交通は地域みずからで守るといった協働の視点も重要となっている。

「住民の交通権を保障すること」と「公共交通はすべての施策の土台と位置づけること」を理念とするよう求めるがどうか。

本市の交通政策の指針となる「鳥取市生活交通創生ビジョン」では、このような視点を重視するとともに、交通政策基本法や地域公共交通活性化再生法などの交通政策に関連する法律に基づき、市が中心となって、将来にわたり持続可能な公共交通を維持確保し、安心して暮らしていける地域を実現するといった理念を明確にしている。

**答** (市長) 公共交通の維持確保は、福祉や教育、観光、まちづくりなど、あらゆる分野に大きく関係しており、総合的な視点で交通政策を考えていく必要があると考える。また、



小・中・義務教育学校の芝生化の推進について

平野真理子 (公明党)



**問** 本市の小・中学校の子どもたちを健やかに育てる環境づくりを進めるため、芝生化と維持管理に取り組みべきと考えるが、教育長の認識と評価、また、これまでの取り組みを尋ねる。

が少なくなったこと、また夏場の地面温度の緩和、土ぼこりの抑制など、教育面のみならず環境面においても効果が出ていると認識している。

**答** (教育長) 本市の小・中・義務教育学校における校庭の芝生化は、市民の皆さんとの協働を基本として、平成20年度から、学校・PTA・地域が主体となって維持管理ができていく学校で行っている。現在は、小学校14校、中学校3校が芝生化しており、そのうち小学校の5校が全面芝生化となっている。この校庭の芝生化により、児童が外に出て遊ぶ回数

がふえたことや、けが



学校におけるICT化の促進を

雲坂 衛 (会派新生)



**問** 一般社会におけるICT化、デジタル化が進む中、諸外国と比べても日本の教育現場は大きく取り残されている。国は、平成30年度より標準的な1校あたり約400万円から600万円の地方財政措置を行っており、1人に1台のパソコン整備を目指しているが、現在、本市は「5.8人に1台」と遅れている。本市の今後の学校のICT化促進のための取り組みについて尋ねる。

人々のあらゆる活動に情報技術が一層浸透していく社会の中でこれからの迎えようとしている子供たちにとって、情報活用能力の育成は極めて重要で、ICT機器を利用した学習活動の充実を図ることが大切である。こういった学習に必要な環境を整え、本市におけるICT教育をしっかりと推進していきたい。

**答** (教育長) ハード面については、国が経済対策として、1人1台のパソコン整備へ向け支援すると聞いており、こういった国の最新の動向を注視しながら本市におけるパソコン整備の計画を立てて積極的に進めていきたいと考えている。

減を図っている。

都道府県	
高等学校費	434 万円 (生徒542人程度)
特別支援学校費	573 万円 (35学級)
市町村	
小学校費	622 万円 (18学級)
中学校費	595 万円 (15学級)

標準的な1校あたりの財政措置額 (中央教育審議会会議資料より)

※平成30年度基準財政需要額算定における標準的な所要額(単年度)を試算したものです。各自自治体における実際の算定に当たっては、様々な補正があります。



住民や利用者に親しまれ  
分かりやすい市役所について



棕田 昇一 (未来ネット)

**問** 市役所本庁舎が11月5日に全面開庁した。

コールセンター、市民・福祉・税の3つの総合窓口、リニューアルしたホームページ。これらの開庁後に明らかになった課題等については、迅速に対応してきたと聞いたが、その中で、現在も対応中または検討中のものがあるか尋ねる。

**答** (税務局長) 税総合窓口では、4つのカウンターそれぞれに端末があるが、税務関係課が所管する全てのシステムを操作できるものとなっていないため、お客様に席を移動してもらう事例が生じている。現在、解決策についてシステムの保守業者等と調整を行っている。

ル後、画面表示や記事の内容など細かな不具合があったため、個々に修正等対応している状況である。ホームページ上にあるアンケート機能等も活用しながら、今後も、利用される方のニーズに応じた改善を行っていきたい。

**問** 新庁舎建設におけるコンセプトの一つに「活力と魅力あるまちづくりの推進」「市民交流・まちづくりに寄与する」とあるが、具体的な取り組みについて及びハートフル駐車場利用対象者への満車時の確保について、またこれからふえる高齢者に向け今以上に分かりやすい駐車場出入口の案内設置について所見を求める。

**答** (市長) 市民の皆さんにご利用頂ける施設としてイベント開催や会議などに利用できる多目的室を3室、パネル展示や市民の誰もがくつろいでいただける情報スペース、テレビやFMラジオの放送設備を備えたコミュニケーションスタジオを設置した。これらの施設を多くの市民に利用していくこととしている。駐車場案内については、駐車場事業者と協議の上、より分かりやすい案内看板設置に努めていく。



新庁舎駐車場の  
利活用について



足立 考史 (無所属)

**問** 教職員の「1年単位の变形労働時間制」が令和3年度から導入されようとしているが、变形労働時間制の導入は、学校現場の間外労働の日常化と、長時間労働の固定化により労働過重となっている先生方の働き方の改善にはならない。業務の軽減化をすすめ、国と県に対して教員定数の改善と教職員数の増員、また、臨時職員

の正職化をより求めていくべきではないか。

**答** (副教育長) 1年単位の变形労働時間制は、繁忙期に勤務時間を延ばし、その延長分の勤務時間を夏休みなどに休日としてまとめてとることで労働時間を調整するものである。この制度は令和3年度から施行されるが、この制度を導入することだけで過重労働が解消されるとは考えていない。この制度も活用しながら、業務の明確化や適正化による見直し、削減などをまずは進めていくことが過重労働の解消のために大切なことであると考えている。引き続き教職員の定数改善を国や県に求めることや、学校の組織体制のあり方を見直す必要があると考えている。



教員の变形労働時間制  
国と県に定数増を求めよ



金田 靖典 (日本共産党)





最優先課題は市立病院！



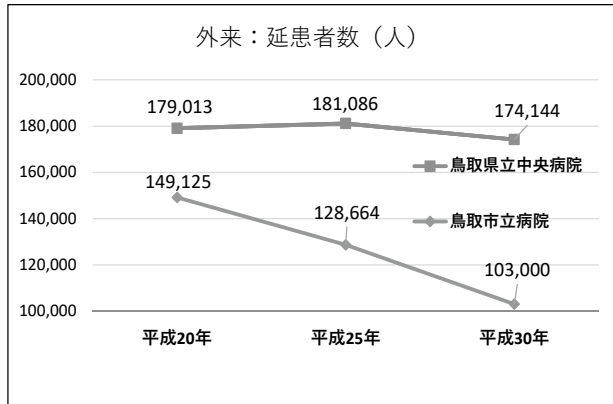
加嶋 辰史 (開政)

**問** 鳥取市立病院における経営の課題である、入院及び外来患者の増加へどう取り組むか尋ねる。

**答** (病院事業管理者)

今年度から他の病院や開業医、介護施設等との連携懇談会や、施設を訪問しての意見交換など、顔の見える関係の構築を開始しており、さらなる連携推進を図って紹介患者の増加につなげていきたい。また、当院は入院診療・外来診療のほかに健診センターを設置し、人間ドックやがん検診、一般健診を行っている。近年、

呼吸器内科、消化器内科、循環器内科などの内科専門医が不足しており、二次健診の受け入れが減少傾向にあったが、来年度は内科の専門医が増員できる見込みとなっており、二次健診を積極的に受け入れ、外来あるいは入院患者の増加につなげていきたい。



継続的な地域の互助による移動支援について



朝野 和隆 (会派新生)

**問** 地域の互助による「有償運送にはあたらな移動支援」が広く普及していくことに期待したいが、ボランティアでは将来にわたって継続することが困難である。取り組むには地域もそれ相応の覚悟や準備が必要と考える。

**答** (市長) 地域福祉の充実に向けた住民同士の助け合い、また、互助の取り組みを推進していくためには、まずは同じ地域で暮らしている皆さんが日常生活上の困り事を共有していただいて、暮らしやすい地域づくりに向けて自発的に行動してい

ただくことが大切である。現在、本市では、地域支え合い推進員に調整役となっていたが、地域の福祉関係者が定期的に集まって課題について話し合う場の設置や運営に取り組んでいるところである。地域の中で多くの関係者が協議・検討することで、地域課題とその対応策が共有され、何をすればよいのかといったことや必要に応じて連携先等も明確になるものと考えている。この話し合いの場に1人でも多くの方に参画いただき、地域支え合い推進員を御活用いただきたいと考えている。



国保の保険証が手元ない状態を改めるべき



伊藤 幾子 (日本共産党)

**問** 国保では、保険証の一斉更新時に前年度以前の保険料が滞納になっていると、2カ月の短期保険証が窓口交付される。平成30年度の短期保険証の対象が1679件、交付が1238件であり、手元に保険証がない市民がいる。国の通知では、「留保が長期間に及ぶことは望ましくない」とあり、手元に保険証がない市民がいることはあってはならないと考えるがどうか。

とは、保険料を納付されている被保険者から理解が得られないことや、納付意識の低下も懸念される。留保し受け取られている保険証を一定期間が経過した後に、郵送することとは現在のところ考えていないが、電話による相談なども受け付けているため、ご連絡いただきたいと思っております。その際には、しっかりと対応していきたいと考えています。

**答** (市長) 本市は、被保険者証の更新に係る通知などを郵送して、できる限り滞納者と納付相談などを行った上で交付するよう取り組んでいる。滞納があるにもかかわらず被保険者証を郵送するこ





中学校での部活前の  
補食について！



加藤 茂樹 (会派新生)

**問** 小学校のクラブでは、スポーツの基礎を学び体づくり、中学校の部活では、次の夢と希望・目標に向かって、学び、練習を重ね、体をつくっていかねばならない。しかし、本市の生徒は、他市の生徒に比べて体が小柄なのが現状である。今の時代の子どもたちの成長期から鑑みて、中学校の部活前に補食を行いたい生徒には、場所を指定しても許可すべきと考えるがどうか。

一環として、教育課程との関連を図りながら行っている。また、鳥取県の生徒たちは、昨年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果によると、身長・体重ともに中学男子・女子の全国平均を上回っており、体力面についても多くの項目で全国を上回っている実態があり、現時点で体づくりのために補食を認める、推奨するということは考えていない。

(※) 水がしみ込むように、無理をしないでゆつくりと養育すること。

**答** (教育長) 学校における部活動は、子どもたちがスポーツや文化活動等に親しみをもつことで、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養(かんよう)等に資するものであり、学校教育の

## 新しい議場での、初の議会が開会されました！



開会に先駆けて、山田議長より挨拶がありました。



傍聴席は、議員に近い目線で議会を傍聴できるようになりました。その中で、各議員が一般質問、質疑、討論を行い、活発な議論が行われました。議員一同、今後も決意を新たに、議会に臨みたいと考えております。

### 傍聴のご案内

本市議会の本会議、委員会は公開されており、市民をはじめすべての人が傍聴できます。傍聴は市議会活動に触れる最も身近な方法であり、市議会議員の活動ややりとりを実際に見聞きすることができます。本会議の傍聴席は市役所本庁舎7階にあり、一般傍聴席47席、親子傍聴席2席、車イススペース4席をご用意しております。



傍聴に関する詳細はこちら↑



※議決結果の詳細は市議会ホームページでご覧いただけます。


賛成…○ 反対…×

賛否状況																				議決結果							
会派新生					未来ネット					公明党					日本共産党			開政			無所属						
魚崎 勇	横山 明	西村 紳一郎	岡田 信俊	寺坂 寛夫	砂田 典男	山田 延孝	上杉 栄一	勝田 鮮二	米村 京子	椋田 昇一	秋山 智博	長坂 則翁	上田 孝春	浅野 博文	前田 伸一	石田 憲太郎	平野 真理子	田村 繁巳	金田 靖典		荻野 正己	岩永 安子	伊藤 幾子	加嶋 辰史	吉田 博幸	足立 考史	太田 縁
○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	原案可決
○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	原案可決
○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	原案可決
○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	原案可決
○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	原案可決

一 陳情審査結果一

不採択となったもの
桜を見る会の実態解明を求める意見書の提出を求める陳情（令和元年陳情第14号） （理由）国会において議論、対処すべきものと考えため
公共放送の運営に係るコンプライアンスの徹底及び消費者保護体制の強化を求める意見書の提出を求める陳情（令和元年陳情第15号） （理由）実現に向けた取り組みがなされていると考えるため
開発行為に関する技術指導基準の見直し等に関する陳情（令和元年陳情第16号） （理由）開発の実情にあわせて規制緩和となる基準の見直しを行っている本市の現状において、規制強化となる基準の見直しには賛同できないため
継続審査となったもの
鳥取市議会常任委員会の会議録ネット公開及び動画中継を求める陳情（令和元年陳情第13号） （理由）さらに調査・研究を要すると認められるため

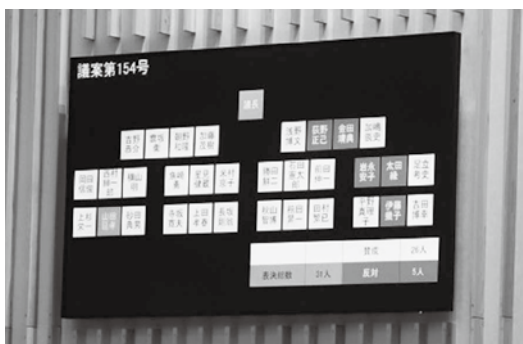
詳しい議決結果と過去の議決結果はこちらから➡



請願・陳情の詳細はこちらから➡



新機能の電子表決システムによる採決が行われました。これにより、傍聴席からでも各議員の賛否を把握できるようになりました。



◆賛否のわかれたもの

議案番号	案 件 名					
		加藤 茂樹	朝野 和隆	雲坂 衛	吉野 恭介	星見 健蔵
<b>&lt;市長提出議案&gt;</b>						
154	令和元年度鳥取市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○
161	鳥取市職員給与条例等の一部改正について	○	○	○	○	○
163	鳥取市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	○	○	○	○	○
164	鳥取市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○
166	鳥取市営住宅の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○

◆全会一致で可決、承認、同意したもの

議案番号	案 件 名
<b>&lt;市長提出議案&gt;</b>	
155	令和元年度鳥取市国民健康保険費特別会計補正予算（第2号）
156	令和元年度鳥取市介護保険費特別会計補正予算（第3号）
157	令和元年度鳥取市温泉事業費特別会計補正予算（第2号）
158	令和元年度鳥取市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第2号）
159	令和元年度鳥取市水道事業会計補正予算（第1号）
160	令和元年度鳥取市下水道等事業会計補正予算（第1号）
162	鳥取市印鑑条例の一部改正について
165	鳥取市保育所条例の一部改正について
167	鳥取市下水道条例の一部改正について
168	鳥取市多目的スポーツ広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について
169	鳥取市プールの指定管理者の指定について
170	鳥取市総合福祉センターの指定管理者の指定について
171	鳥取市老人福祉センターの指定管理者の指定について
172	鳥取市老人福祉センターの指定管理者の指定について
173	鳥取市福部砂丘温泉ふれあい会館の指定管理者の指定について
174	鳥取市青谷町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について
175	工事請負契約の締結について
176	工事請負契約の締結について
177	工事請負契約の変更について
<b>&lt;議員提出議案&gt;</b>	
10	「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書の提出について
11	令和元年台風19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書の提出について

## 姉妹都市との交流（姫路市）



鳥取市と姫路市との姉妹都市議会親善交歓会を令和元年11月11日、12日に本市で開催し、姫路市議会議員24名が来鳥されました。意見交換会では、「公共施設マネジメントについて」をテーマに活発に意見を交換し、旧美敷水源地水道施設などを視察しました。



## 鳥取市議会HPのご案内

鳥取市公式ホームページのリニューアルに伴って、鳥取市議会ホームページへの入口が変わりました。

市議会の情報をいち早く掲載しておりますので、是非ご覧ください。

鳥取市公式 HP トップページ



暮らしの情報（総合メニュー）ページ



発行日/令和2年(2020年)3月1日 編集発行/鳥取市議会

T680-6571 鳥取市幸町71番地 ☎(0857)22-8111(代) FAX 32-2170

3月25日(水)	閉会	※本会議はいなびょんびょんネット、インターネットでご覧いただけます。 ※この日程は変更になる場合もあります。 ※本会議は通常午前10時に開会の予定です。
3月24日(火)	予算審査特別委員会	
3月23日(月)	予算審査特別委員会	
3月19日(木)	委員会・予算審査分科会	
3月18日(水)	委員会・予算審査分科会	
3月17日(火)	委員会・予算審査分科会	
3月16日(月)	委員会・予算審査分科会	
3月13日(金)	委員会・予算審査分科会	
3月12日(木)	委員会・予算審査分科会	
3月11日(水)	予算審査特別委員会 (総括質疑)	
3月10日(火)	質疑・委員会付託	
3月9日(月)	一般質問(各個質問)	
3月6日(金)	一般質問(各個質問)	
3月5日(木)	先議分採決・一般質問 (各個質問)	
3月4日(水)	委員会・予算審査分科会	
3月3日(火)	委員会・予算審査分科会	
3月2日(月)	委員会・予算審査分科会	
2月28日(金)	委員会・予算審査分科会	
2月27日(木)	委員会・予算審査分科会	
2月26日(水)	先議分質疑・委員会付託	
2月25日(火)	一般質問(代表質問)	
2月21日(金)	開会・会期の決定・提案説明 予算審査特別委員会設置	

## 2月定例会のおしらせ

### 編集後記

新年号は令和となり、令和元年11月5日から鳥取市新庁舎も全面開庁となりました。庁舎防災機能が向上し、市民の皆様の安全をより一層確保できる場所となりました。

鳥取市議会は議会報告会・意見交換会を平成29年度からトークカフェ方式とし、多くの市民の皆様に参加して頂きました。現在、議会広報委員会は市議会に関心をもって頂くため配布している議会だよりの構成変更、議会HPの改善、SNSの活用などを検討しています。引き続き、わかりやすい情報発信に努め、より開かれた市議会となるよう努力してまいります。

今後とも市民の皆様のご意見、ご支援をお願いいたします。  
(議会広報委員 魚崎 勇)

### 皆さんの作品が表紙になります!!

とっとり市議会だよりの表紙をかざる写真・絵手紙等を募集しています。みなさまからの活気あふれる作品のご応募をお待ちしています！  
次月号は、6月1日発行を予定しています。

詳しくは、鳥取市議会ホームページをご覧ください。事務局調査係までご連絡ください。

◆QRコードで簡単アクセス!

